

令和元年市政功労者を表彰



令和元年市政功労者に、四十五人・一団体の方々を決定し、その功績をたたえました。

敬称略、部門ごとに五十音順

歯科医

ボランティア功労

- ▽緒方正則 四倉町 ボランティア
- ▽田仲一夫 常磐上湯長谷町 ボランティア
- ▽C.A.P.いわき 小名浜 ボランティア

自治・社会福祉功労

- ▽志賀孝夫 内郷内町 行政嘱託員
- ▽志賀友衛 平 行政嘱託員
- ▽柴崎征喜 三和町下永井 納税貯蓄組合長
- ▽鈴木宏昭 泉町 消防団員
- ▽田子伸一 川部町 消防団員
- ▽根本晃 内郷内町 消防団員
- ▽波立俊彦 鹿島町上蔵持 消防団員
- ▽蛭田壽子 遠野町根岸 婦人消防隊員
- ▽藁谷茂典 内郷宮町 行政嘱託員

社会福祉功労

- ▽育等の指導育成に尽力
- ▽佐藤勲 (田村学) 平下 荒川 文化芸術の振興に貢献
- ▽山崎保壽 内郷御殿町 寄附
- ▽加藤善男 平中平窪 保護司
- ▽榎田千代子 植田町 保護司
- ▽佐藤州治 内郷御台境町 保健委員
- ▽澤田春治 川部町 保健委員
- ▽下本榮子 勿来町 民生・児童委員、保護司
- ▽鈴木茂 内郷高坂町 保健委員
- ▽関洋美 小名浜玉川町 学校薬剤師
- ▽高木克塲 錦町 保護司
- ▽田中照子 小名浜 民生・児童委員
- ▽常盤峻士 内郷綴町 学校医
- ▽戸田寛幸 江名 保健委員
- ▽根本克治 金山町 保護司
- ▽野木アイ子 平下平窪 保護司
- ▽早川智浩 常磐長孫町 保護司
- ▽馬目公章 江名 保健委員
- ▽三森初江 内郷宮町 保健委員
- ▽宮川崇 勿来町 保護司
- ▽矢野直樹 東田町 学校医
- ▽吉田恭子 内郷高坂町 保護司
- ▽吉田恭子 永崎 民生・児童委員
- ▽渡邊和美 平下平窪 学校医
- ▽渡邊重視 植田町 嘱託

紺綬褒章

▷東洋システム株式会社=常磐西郷町
同褒章は、公益のために多額の私財を寄附した個人・団体に授与されるものです。昨年9月に、小型動力ポンプ付軽積載車2台を本市へ寄附した功績がたたえられました。

地名の中の「いわき」

長い通称名を経て、正式字名へ

大正時代に入ると、好景気や磐越東線の全線開通によって、江戸時代に商業の中心であった一丁目から五丁目、一層にぎわいを見せました。それまで五丁目に隣接しながら人家がまばらだった立町や櫛宜町が開発されるようになり、市街

地名には、地域の歴史を知るヒントが隠されています。市内各所の地名にまつわる由来などを紹介し「いわき」の歴史をひもときます。

と五丁目が連なる状況となりました。

このことから、大正八(一九一九)年八月開催の平町議会において、櫛宜町と正月町にまたがる立町の一部を字六丁目へ、正月町にまたがる櫛宜町の一部を字七丁目へ改称することを決めました。しかし、これらの改称は県の承認を得られなかったため、それ以降長い間、通称名として使われるようになりました。古い地図を見ると、六町(丁)目、七町(丁)目の字名が見られますが、正式な字名ではありませんでした。六丁目が正式な字名として改称されるのは、平成十(一九九八)年まで待たなければなりません。なお、改称された字名の六丁目「字」は付されませんでした。これと同時に周辺の字境も改称されましたが、新しい区域も「字」は付されませんでした。この結果、鎌田町と字鎌田町、正月町と字正月町、櫛宜町と字櫛宜町が存在することになったのです。(いわき地域学會 小宅幸一)



水害に見舞われた立町。商店の看板から、地元の人々には六町(丁)目の名称が使われていたことが分かる [昭和17(1942)年2月 磐城国道事務所撮影]

※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただける方は、ふるさと発信課 (☎22・7503) へご連絡ください。

連載シリーズ

こんにちは市長室から ④7



「フラシティいわき」

いわき市長 清水敏男

市では、まちの魅力を発信し、都市イメージの向上と市内外の皆さんから選ばれるまちを実現するため、昨年市シティセールス基本方針を策定しました。本市ならではの個性を「フラ」と位置付け、ブランドメッセージ「フラシティいわき」とロゴを作成し、あらゆる機会を捉えてPRしています。

既にロゴ入りパッケージのコーヒーやドレッシング、風呂敷、ラップなどの商品化が

行われており、今後も企業などとの連携を進めていきます。また、アロハシャツの着用についても、市職員のみならず、県職員やタクシー運転手の方などにも広がりを見せ、アロハシャツを着て来店するとサービスが受けられる「まいにちアロハ」の参加店も増加傾向にあります。震災後に始まった「フラガールズ甲子園」も年々盛り上がりを見せており、市内の高校に誕生したフラダンス部は、今では各種イベントなどにひっぱりだこです。

常磐ハワイアンセンターから始まったフラの文化がハワイ州カウアイ郡と国際姉妹都市を締結するきっかけとなり、さらには、民間主導の新たなイベント「いわき・カウアイオハナ フラ フェスティバル」の創出にもつながっています。